



びばうしの丘



中体連がやってくる

校長 大柄 洋 樹

運動系部活動に所属している中学生なら、誰もが目標にしている上川南部地区中体連球技大会が明日6月24日(金)から始まります。上川南部地区中体連球技大会とは、上川町、愛別町、比布町、当麻町、鷹栖町、東川町、東神楽町、美瑛町、上富良野町、中富良野町、富良野市、南富良野町、占冠村にある中学校が出場する大会です。この大会を勝ち抜いたチームや選手は、全道大会への出場権をかけて、上川代表決定戦を戦います。選手も指導者も、中体連を楽しみにしていると思います。特に3年生にとっては、中学校で初めて専門的に競技を経験した人が多く、当日を迎えることに期待と不安が混じった心持ちでしょう。今日、中学校では出場選手の不安な気持ちを少しでも和らげ、激励をする壮行会を行いました。

中体連は1955年に全国中学校体育連盟の発足によって始まりました。しかし、当時の文部省は教育課程内での中学生の全国大会開催に難色を示していました。1979年に、課外活動であることを前提に全国大会の開催が認められ、今日に至っています。それから43年、部活動の勝利至上主義を背景に指導過熱が長い間続き、選手のけがや燃え尽き症候群などさまざまな弊害が指摘されるようになりました。現在は、部活動時間や休養日の適正化が図られ、随分と課題は解決されつつあります。一方、少子化による部活動の存続の危機や、教職員数の減少などによる指導者不足が課題となっています。

そんな中であっても、全国には多くの中学生が運動系部活動に参加し、この時期に地区中体連を迎えることとなります。恐らく、どの中学生も自分の勝利を信じて練習に励んできたことと思います。私も、中学校では運動系の部活動に所属していました。3年間、一生懸命に練習しましたが、最後の中体連は1回戦負けであっけなく引退しました。トーナメントの1回戦で負けを経験するチームや選手は全体の半数です。そう考えると、相手に勝つということの難しさが分かります。

私は入試で面接のある高校を受検する生徒のために、面接練習をしてきました。部活動に所属している生徒に「あなたが部活動で学んだことは何ですか。」と質問すると、次のような答えが返ってきます。「毎日、続けることの大切さを学びました。」「仲間を大切にすることが分かりました。」「人間関係の大切さを学びました。」「相手を敬う心を学びました。」「大きな声で話すことの大切さを学びました。」美馬牛中学校の生徒のみなさんは、部活動からどんなことを学ぶのでしょうか。

体育大会～熱戦の果てに…

5月28日（土）、「You Can Do It!」のテーマのもと、第73回体育大会を実施しました。大会前の天候が不安定で、延期も覚悟しましたが、どうにか実施することができました。ここ数年は紅組が連勝でしたが、今年は白組が奮起、優勝を勝ち取りました。結果はともかく、生徒全員の競技に真剣に取り組む表情がまぶしく感じられた一日でした。



熱戦が終わったあとは…

9日（木）に避難訓練を行いました。避難のあとは全員が消防団の指導を受けて放水体験をしました。たくさんの地域の方のご協力を頂きました。

また、16日（木）と17日（金）は期末テストでした。1年生にとって初めての定期テスト、さて、努力が結果に結びついたのでしょうか。

といているうちに中体連に突入、1学期も大詰めを迎えます。

7月の主な行事予定

1日（金） 中学生キャリアアップ講座（美瑛中）	12日（火） 常任委員会
4日（月） 開校記念日	13日（水） 2年宿泊研修（～14日）
6日（水） 第2回参観日	15日（金） 2年回復休業
7日（木） 上川代表決定戦壮行会	22日（金） 1学期終業式
8日（金） 中体連上川代表決定戦（～9日）	23日（土） 夏季休業開始（～8月16日）
11日（月） 職員会議（午前授業）	※2学期始業式は8月17日（水）です

※本通信は、個人情報保護の観点から、ご家庭でのみお読みください。生徒用端末からもご覧頂けます。